

表2 フランスの社会的包摂と社会状況指標

社会的包摂の指標(ヨーロッパ2020)

	これらの指標は金銭的な貧困者の人口(閾値60%)、物質的な貧困者の人口(アンケート9項目のうち4項目にマイナスポイント)、極度に雇用が不安定(世帯内で年間の閾値20%)な世帯の人口を総括的にまとめている。数字はVA(絶対値)と百分率(%)で表される。	調査範囲	フランス本土が対象。出所: Eurostat。注: ある年をNとすると、生活水準の貧困率はN年、金銭的な貧困率はN-1、雇用の安定はN-1で表される。極度に雇用が不安定な世帯は年間の貧困ラインが20%の世帯に相当する。通年において無職世帯の0%から、通年において世帯の成人全員がフルタイム勤務する100%まで範囲は様々である。
--	---	------	---

社会状況指標

①	ONPESは基本的に、表の中央部分の指標の、最低限社会的保障の必要な受給者に関わる一連の状況指標を採用することにした。これらの指標は問題点を明らかにし、理解をより深め、事態のさらなる発展を認証する。	調査範囲	最低限社会的保障の必要な生産人口の受給者数の年間推移は、社会保障管理機構が年度末に実施する、貧困に関する調査の現状を反映した景気の指標である。ONPESはこの指標を、労働市場の景気の推移と相互依存するという理由で、この指標を労働人口の4種類の社会保障(RMI/最低所得保証そしてRSA/積極的連帯所得基本額、API/単親手当、ASS/特別連帯手当とAAH/成年障害者手当、AER/年金同等代替手当-R)の中心にすえた。
②	フランス中央銀行に申請された超過債務資料の数。フランス中央銀行が実施する年度末の超過債務の調査の資料数。	調査範囲	フランス本土、年度末。出所: フランス中央銀行。資料の取り扱いに変更が生じたことを考慮。データは2003年以降。
③	複数の区分があるRSAによると、RSAの受給者数(青少年RSA含む)はさまざまな形態のRSA(基本額、就業)の受給者を年度末に総計したものである。	調査範囲	フランス本土。出所: CNAF MSA(農業互助機関)。2010年9月以降、RSAの対象範囲は25歳以下の者まで広がった(仕事の条件による)(全体の1%)。RSAは以前のRMI+APIの範囲にひとしい。
④	非納税者で最低限社会保障の受給者である非就業人口(ASV/老齢助成手当+ASPA/高齢者支援手当)数は、老齢年金最低保障の受給者を年度末に総計したものである。	調査範囲	フランス本土。出所: DREES(調査統計評価部局)、貯蓄供託銀行、CNAMTS(賃金労働者健康保険公庫)。注: ASPAは2007年1月13日施行。とくにASVIは以前の老齢手当最低保障にひとしい。
⑤	RSA基本額受給者の長期貧困率は、3年以上同じ給付を受けている受給者の割合を指す。	調査範囲	フランス本土。出所: CNAF。2007、2008、2009年の3年に関しては、以前のRMI(失業最低賃金)とAPI(単親家庭手当)を参考にする。
⑥	RSA基本額受給者の多い5県と少ない5県の割合は、少ない5県に対する受給者総数の中でのRSA基本額受給家庭の割合と、多い5県に対する受給者総数の中でのRSA基本額受給家庭の割合を示している。	調査範囲	フランス本土。出所: CNAF。